

議 事 要 旨

名 称	令和5年度 第1回 まつやま人口減少対策推進会議総会
開催日時	令和5年10月23日(月) 14:30~15:30
開催場所	松山市役所 別館6階 第3・第4委員会室
出席者	別添出席者名簿のとおり
議事内容	<ol style="list-style-type: none">1. 松山市長挨拶2. 座長挨拶3. 報告<ol style="list-style-type: none">(1)運営幹事会の活動について(2)専門部会の活動について(3)監事監査の結果について<ul style="list-style-type: none">● 事務局より説明。4. デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)事業の効果検証について<ul style="list-style-type: none">● 事務局より説明。5. 第2期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略取組状況及び KPI の進捗状況等について<ul style="list-style-type: none">● 事務局より説明。6. 松山市の少子化への新たな取り組みについて<ul style="list-style-type: none">● 事務局より説明後、意見交換。(主な意見)<ul style="list-style-type: none">・転出先や転入元など人口動態の詳細を分析し、実態に応じた対策の検討が必要。・県内一の大都市であり、県庁所在地として県内全体のことも考える必要がある。・20代の転出が多いのは進学、就職のみが理由ではないと思われるため、魅力のある職場も作っていく必要がある。7. 各業界の人口減少問題について(意見交換)<ul style="list-style-type: none">● 出席者による意見交換。(主な意見)<ul style="list-style-type: none">・人手不足は直ちに改善する目途が立っておらず、デジタル化による業務効率化や生産性向上、AI活用など経営のあり方を根本的に見直す必要がある。・企業も人口減少を経営課題として考えているが、経営努力だけに委ねるものではない。・女性が魅力を感じる職場について、働きやすさや家庭との両立支援などに加えて、職種や待遇などのキャリアパスの明示が重要・学生に地域に根づいてもらうのは非常に大きな課題。産官学連携は、言葉は簡単だが難しいことも多いため、市から積極的に大学や企業に働きかけ、提案をいただきたい。・リモートワークが普及すれば、都会の会社に勤めながら松山での居住が可能となり、松山の住みやすさ、空港等のインフラをアピールすることで、若い世代を呼び込むことも可能。・若い頃から県内で活躍する人生を思い浮かべられるように、教育機関や企業が取り組む。8. 次期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定について<ul style="list-style-type: none">● 事務局より説明。